



Sapporo Gakuin University

学園広報

2004.11.5 No.89

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

総合体育館起工式 来年七月完成をめざす

去る七月二十八日水、第二キャンパス総合グラウンド内の総合体育館建設予定地にて起工式が執り行われました。当日はあいにくの天候となりましたが、来賓に江別市の中川助役市長代理をはじめ文京台町内会各代表の方々をお招きし、理事長、学長、学園役員、大学関係者、学生代表、設計会社、施工業者など総勢五十名に出席して頂きました。午前十一時より「修祓式」が厳かに行われ、鉄入りの儀や祭壇に玉串奉奠などが行われ、工事の無事を祈願しました。その後、場所を体育センターに移して「直会」が行われ、江別神社内田宮司様のご発声による神酒拝戴の儀で開会し、最初に本学園を代表して、伊坂理事長より「第二キャンパスに新体育館が建設されることは、また一つ本学園発展の歴史に残る喜ばしいことである」との挨拶がありました。続いて設計会社、施工業者からも「道内一となるような体育館建設を、予定期間内で完成するよう全力を尽くしたい」とそれぞれ挨拶がありました。祝宴では、布施学長が「未来のスポーツ選手の活躍を願って、是非素晴らしい体育施設を整備して頂きたい」と挨拶し、乾杯を行いました。しほしは、本校園理事である竹内後援会長による万歳三唱で会を締めくくりました。これにより総合体育館は約十二カ月の工期を経て、来年七月に完成し、九月の授業開始には全館が本格的に利用できる予定と見られています。



鉄入れをする伊坂理事長

英語英米文学科
本学は人間科学科と英語英米文学科の二学科で、臨床心理学科は対象になっていません。また、締結した内容は原則として両学科に在籍する二年次以上の学生を対象に、一年間の交換を通して一九九九年以前に入学生は三十単位を上限に、また二〇〇〇年度以降の入学生は六十単位を上限にそれぞれ卒業に必要な単位に組み入れるというもので、これにより双方の学生は休職を含めた交流の拡大を共に通に確認し、なごやかな雰囲気の中で協定調印式を終了しました。

本学人文文学部は、学生の教育条件の改善・充実を図るために、他大学で履修した単位を卒業に必要な単位として認める「単位互換制度」を、松山大学人文文学部と間で締結することに、九月十三日に締結書の交換式を執り行いました。

式は午前四時四十分から本学G館五階の特別会議室で行われ、松山大学からは國崎敬一文学部長をはじめ関係者四名が、本学からは廣川和子文学部長ら八名が出席しました。式の中で廣川文学部長は「本学人文文学部に深いかかわりのあった松山大学と単位互換協定が実現したのは、当時を知る者として感慨深いものがある」と挨拶を行い、國崎文学部長は「愛媛にはない

北海道の文化に学生が触れて社会的な視野を広げられること、また、協定を通じて大学の改革が促進されることを期待している」と述べ、教職員を含めた交流の拡大を共に通に確認し、なごやかな雰囲気の中で協定調印式を終了しました。

今回、協定の対象となる学科は、松山大学が社会学科と

想えば一昨年定山溪での新入学生合宿オリエンテーションのとき、学生たちが何か素敵な想い出を胸に卒業出来るように独自の行事を創出したという担任教員たちの思いに端を発したものでしたが、周囲の人たちの絶大な理解と励ましを受けながら全学的な行事へと発展しつつあることを嬉しく思っています。

今回は学生たちが「自分たちの行事」という意識を強く持ち、計画・準備から実施に至るまで実によく協力してくれました。まじめに参加し、

東國大と本校との学生交流プログラムは今年で五年目を迎えました。昨年はSARSの問題で時期を延期して実施しましたが、双方の大学にとって意義のあるプログラムとして継続しております。

今年度は八月二十八日(月)から九月六日(日)までの一週間、東國大と本校への派遣プログラムに参加しました。東國大のプログラム内容は、九月六日(月)から十日(木)までの一週間、東國大と本校への派遣プログラムに参加しました。

校側から十三名の学生と黄・李基東教授による韓国史の講義、日本と朝鮮の悲しい歴史を記した独立記念館の見学。ここではすべての学生の笑顔が消えませんでした。日本で歴史を学ぶ上であまり触れられない事実を直に言葉で知ることができました。この独立記念館は過去の歴史、事実を後世に伝えるための歴史、二度と繰り返さないよう祈って建築されたと言われ、それが心に

刻んで帰ってきました。プログラムの後半には現在の韓国ブームの火付けとなった「冬のソナタ」のロケ地である南怡島(ナミソク)の散策の後、近くのコンドミニアムでの合宿で親睦を深めました。そして最終日の帰国の際は韓国の友との別れが惜しく涙で帰ってきました。とはいえ今回参加した学生が韓国語を流暢に話せたわけではありません。片言の単語をつなげて話したり、英語を使ったり、ボディランゲージで自分の意思を伝えたりしていました。そして合宿で一緒に食事を作ったり、キャンプファイヤーを囲んでの団欒、それぞれの努力で交流の輪を広げたものです。今後もこの学生交流プログラムを通して、双方の国の風土や文化を歴史を学び、新しい発見と事実を知り学生個々が大きく成長することを期待します。そして将来的に国際感覚を身に付けた多くの学生が育ち世界への架け橋になればと考えます。

人文文学部、松山大学と 単位互換協定締結

松山大学との協定は、商学部・経済学部を主眼とし、本学は一九九三年度から国内の大学との単位互換に積極的に取り組んでおり、他学部による協定を含めると松山大学のほかに沖繩国際大学、京都学園大学、立正大学との間で協定が取り交わされています。

東國大と本校との学生交流プログラムは今年で五年目を迎えました。昨年はSARSの問題で時期を延期して実施しましたが、双方の大学にとって意義のあるプログラムとして継続しております。

今年度は八月二十八日(月)から九月六日(日)までの一週間、東國大と本校への派遣プログラムに参加しました。

校側から十三名の学生と黄・李基東教授による韓国史の講義、日本と朝鮮の悲しい歴史を記した独立記念館の見学。ここではすべての学生の笑顔が消えませんでした。日本で歴史を学ぶ上であまり触れられない事実を直に言葉で知ることができました。この独立記念館は過去の歴史、事実を後世に伝えるための歴史、二度と繰り返さないよう祈って建築されたと言われ、それが心に

刻んで帰ってきました。プログラムの後半には現在の韓国ブームの火付けとなった「冬のソナタ」のロケ地である南怡島(ナミソク)の散策の後、近くのコンドミニアムでの合宿で親睦を深めました。そして最終日の帰国の際は韓国の友との別れが惜しく涙で帰ってきました。とはいえ今回参加した学生が韓国語を流暢に話せたわけではありません。片言の単語をつなげて話したり、英語を使ったり、ボディランゲージで自分の意思を伝えたりしていました。そして合宿で一緒に食事を作ったり、キャンプファイヤーを囲んでの団欒、それぞれの努力で交流の輪を広げたものです。今後もこの学生交流プログラムを通して、双方の国の風土や文化を歴史を学び、新しい発見と事実を知り学生個々が大きく成長することを期待します。そして将来的に国際感覚を身に付けた多くの学生が育ち世界への架け橋になればと考えます。



All English Camp 2004 自然と英語が話せた!

一昨年利尻島で産声を上げた英語キャンプも、今回で第三回を迎え昨年同様丹町市を中心に「All English Camp 2004」と銘打ち八月一日から三日四日の日程で行われました。参加者は学生二学部三学科三十一名、引率者・特別参加者八名、総勢三十九名にもなりました。

このキャンプの趣旨は、英語を話しながら三泊四日寝食を共にし、一日三食の食事の用意から始まり、英語が話しやすいように様々な工夫されたゲームや発表などを通して、海水浴、ビーチバレー、ハイキング、花火大会などを楽しみながら、教室では得られない英語との自然な触れ合いを経験する

想えば一昨年定山溪での新入学生合宿オリエンテーションのとき、学生たちが何か素敵な想い出を胸に卒業出来るように独自の行事を創出したという担任教員たちの思いに端を発したものでしたが、周囲の人たちの絶大な理解と励ましを受けながら全学的な行事へと発展しつつあることを嬉しく思っています。

今回は学生たちが「自分たちの行事」という意識を強く持ち、計画・準備から実施に至るまで実によく協力してくれました。まじめに参加し、

東國大と本校との学生交流プログラムは今年で五年目を迎えました。昨年はSARSの問題で時期を延期して実施しましたが、双方の大学にとって意義のあるプログラムとして継続しております。

今年度は八月二十八日(月)から九月六日(日)までの一週間、東國大と本校への派遣プログラムに参加しました。

校側から十三名の学生と黄・李基東教授による韓国史の講義、日本と朝鮮の悲しい歴史を記した独立記念館の見学。ここではすべての学生の笑顔が消えませんでした。日本で歴史を学ぶ上であまり触れられない事実を直に言葉で知ることができました。この独立記念館は過去の歴史、事実を後世に伝えるための歴史、二度と繰り返さないよう祈って建築されたと言われ、それが心に

刻んで帰ってきました。プログラムの後半には現在の韓国ブームの火付けとなった「冬のソナタ」のロケ地である南怡島(ナミソク)の散策の後、近くのコンドミニアムでの合宿で親睦を深めました。そして最終日の帰国の際は韓国の友との別れが惜しく涙で帰ってきました。とはいえ今回参加した学生が韓国語を流暢に話せたわけではありません。片言の単語をつなげて話したり、英語を使ったり、ボディランゲージで自分の意思を伝えたりしていました。そして合宿で一緒に食事を作ったり、キャンプファイヤーを囲んでの団欒、それぞれの努力で交流の輪を広げたものです。今後もこの学生交流プログラムを通して、双方の国の風土や文化を歴史を学び、新しい発見と事実を知り学生個々が大きく成長することを期待します。そして将来的に国際感覚を身に付けた多くの学生が育ち世界への架け橋になればと考えます。

(文責 中川文夫)

埼玉県志木市長・穂坂邦夫氏



商学部公開講座「進化する自治体経営」 志木市長ら「わが町の改革戦略」熱く

二〇〇四年度札幌学院大学商学部公開講座は、八月二十三日から二十八日まで開講された。今年度統一テーマは「進化する自治体経営」。現在、地方自治体は財政難、地方交付金削減と税の削減と税源移譲、市町村合併への圧力、地域の疲弊、住民サービスの多様化などの課題を抱えている。前例を踏襲し、政府と都道府県へ依存する自治体経営はできなくなり、市

町村長は戦略的な視点で自治体経営と地域経営を考え、実行し、成果をあげる必要に迫られている。こうした厳しい環境下で地方自治体としての経営しているのかを考えると、本講義の目的である。

話をしていただいた。子供達にも地域の将来を考えてもらう手法は参加者に感銘を与えたようである。二十五日今回の市町村合併を見送ることにしている北海道十勝町の竹中貢町長のご講演である。住民やNPO(民間非営利組織)と協働して自立を進めるといふ、地域経営の手法に関心が集まった。二十六日は北海道石狩市の田岡克介市長が講演された。急激に規模が拡大した自治体の問題を徹底した行政改革で解決し、市民の意見を反映できる制度を保障した条例によって評価されている田岡流自治体経営を披露していただいた。二十七日は今回、市町村合併を正式に決めている唯一の自治体である、北海道恵山町の工藤篤町長から、函館市への編入合併を決断した経緯と将来の見通しを

基幹ネットワークシステムを刷新

ITを活用した教育研究活動の活性化をめざして

本学では、教育用パソコンや学習支援サーバの導入、マルチメディア教室の整備など、

ITを活用した教育研究条件の改善に積極的に取り組んできました。

しかし、その基盤となる「基幹ネットワークシステム」が九年前に導入した旧式ネットワークであったため、伝送速度の遅さや機器の故障が

多発し、授業改善と連携しながら、「知識を吸収する授業」から「学生自らが主体的に問題を発見し解決する授業」へと教育スタイルを抜本的に変革するための情報基盤の整備という一面を持っています。

このように、今回のネットワーク整備計画は、ファカルティ・ディベロップメント

事業は私立大学・大学院等教育研究施設整備費補助対象事業として採択されており

ます。マルチメディアに対応した高速ネットワーク。高速ネットワーク環境の実現によって、動画や音声などを中心としたマルチメディア教材をネットワーク上で遅滞なく配信できるようになりました。

臨場感あふれる豊かな教材を提供することで、学生の興味関心が一層喚起され、さらには授業理解度の向上につながることを期待されます。

また、ネットワークを介した教員と学生の双方向型コミュニケーションを実現することで、受け身の学習プロセスに馴染んだ学生の意識改革を図り、学生に学ぶ楽しさ、自ら学ぶ意義を見いだすきっかけを与える効果が期待できます。

なお、この整備による多様な問題を提起され、特に「伝達・交わり・行為」というコミュニケーションが持つ三つの性格を強調し、その本質を問うような議論を展開されました。また、コミュニケーションの問題を取り上げ、情報と環境との接点を重視したシンポジウムが無事に閉会となりました。



また、この整備による多様な問題を提起され、特に「伝達・交わり・行為」というコミュニケーションが持つ三つの性格を強調し、その本質を問うような議論を展開されました。また、コミュニケーションの問題を取り上げ、情報と環境との接点を重視したシンポジウムが無事に閉会となりました。

このように、今回のネットワーク整備計画は、ファカルティ・ディベロップメント事業は私立大学・大学院等教育研究施設整備費補助対象事業として採択されており

ます。マルチメディアに対応した高速ネットワーク。高速ネットワーク環境の実現によって、動画や音声などを中心としたマルチメディア教材をネットワーク上で遅滞なく配信できるようになりました。

臨場感あふれる豊かな教材を提供することで、学生の興味関心が一層喚起され、さらには授業理解度の向上につながることを期待されます。

また、ネットワークを介した教員と学生の双方向型コミュニケーションを実現することで、受け身の学習プロセスに馴染んだ学生の意識改革を図り、学生に学ぶ楽しさ、自ら学ぶ意義を見いだすきっかけを与える効果が期待できます。

なお、この整備による多様な問題を提起され、特に「伝達・交わり・行為」というコミュニケーションが持つ三つの性格を強調し、その本質を問うような議論を展開されました。また、コミュニケーションの問題を取り上げ、情報と環境との接点を重視したシンポジウムが無事に閉会となりました。

このように、今回のネットワーク整備計画は、ファカルティ・ディベロップメント事業は私立大学・大学院等教育研究施設整備費補助対象事業として採択されており

ます。マルチメディアに対応した高速ネットワーク。高速ネットワーク環境の実現によって、動画や音声などを中心としたマルチメディア教材をネットワーク上で遅滞なく配信できるようになりました。

臨場感あふれる豊かな教材を提供することで、学生の興味関心が一層喚起され、さらには授業理解度の向上につながることを期待されます。

多メディア時代の「コミュニケーション」をめぐる社会情報学部シンポジウム開催

社会情報学部では、「第十四回社会と情報に関するシンポジウム」を、二〇〇四年七月二十四日(土)と二十五日(日)の両日にわたって開催しました。本年度は、「多メディア時代のコミュニケーション」をめぐって」というテーマを招き、基底的にはありま

が多義的な意味を持つコミュニケーションの現状と可能性についてお話をいただくことができました。

二十四日の午前中は、橋元良明先生(東京大学大学院情報学環社会情報研究所)から「インターネット、携帯電話

の普及とコミュニケーションの普及とコミュニケーションネットワークや携帯電話に関する二〇〇一年から二〇〇三年にかけて行ったパネル調査(追跡調査)の結果から、新しいコミュニケーション・ツールが家族関係や交友関係、精神生活に及ぼした影響についてご報告いただきました。また、午後からは、尾関周二先生(東京農工大学大学院共生科学技術研究部)から「現代コミュニケーションの光と影」

哲学思想の観点から」という演題で、また秋山博介先生(実践女子大学生活科学部)から「バーチャルリアリティ論」に

使分けける技術とメディアリテラシー及び地域の人々の自己覚知教育の必要性」という演題でご講演いただきました。それを受けて本学部の高橋徹先生からのリポートが行われ、尾関先生は、ご専門である哲学の観点からコミュニケーション論にまつ

る多様な問題を提起され、特に「伝達・交わり・行為」というコミュニケーションが持つ三つの性格を強調し、その本質を問うような議論を展開されました。また、コミュニケーションの問題を取り上げ、情報と環境との接点を重視したシンポジウムが無事に閉会となりました。

このように、今回のネットワーク整備計画は、ファカルティ・ディベロップメント事業は私立大学・大学院等教育研究施設整備費補助対象事業として採択されており

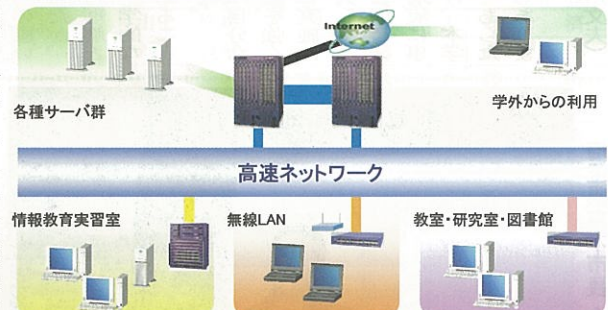
ます。マルチメディアに対応した高速ネットワーク。高速ネットワーク環境の実現によって、動画や音声などを中心としたマルチメディア教材をネットワーク上で遅滞なく配信できるようになりました。

臨場感あふれる豊かな教材を提供することで、学生の興味関心が一層喚起され、さらには授業理解度の向上につながることを期待されます。



左から、橋元良明、秋山博介、尾関周二の各氏

基幹ネットワークシステム全体構成図



二〇〇五年度入学生の学費決まる

二〇〇五年度入学生の学費については、本年八月十九日に開催された学校法人札幌学院大学第一五六回理事会において決定されました。

本学では一九九九年から現在までの学費制度を導き出し、その柱は、札幌圏の文系ネットシラボラレーションを促す「ジェネラリスト」の必要性を論じられました。翌二十五日は、三氏の補足講演が行われ、二日間わたる充実したシンポジウムが無事に閉会となりました。

ネットを媒介した社会的な事件が登場し、コミュニケーションのあり方が改めて問われる中、シンポジウムの中で交わされた議論は、多メディア時代のコミュニケーションの意味や可能性を考へる上で、刺激的かつ大変有意義なものになりました。なお、シンポジウムの講演内容は、本学部の紀要「社会情報」NO.40に掲載予定です。(社会情報学部研究委員会)

2005年度入学生の学費

(大学院・法学研究科) (単位:千円)

	2005年度	2006年度
入学金	200	-
授業料	634	674

(大学院・臨床心理学研究科)

	2005年度	2006年度
入学金	200	-
授業料	834	874

(大学院・地域社会マネジメント研究科)

	2005年度	2006年度
入学金	200	-
授業料	534	574

(商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
入学金	200	-	-	-
授業料	834	874	902	922

(社会情報学部)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
入学金	200	-	-	-
授業料	910	970	1,010	1,020

釧路市民講座 講演と音楽の夕べ



市民講座「講演と音楽の夕べ」が室蘭市で七月一日(金)、釧路市で九月二十四日(金)に、併せて五五〇名を越す市民の参加を得て盛大に開催されました。

市民講座は市民に開かれた大学を目指す本学が一九九七年に札幌で開催したのが始まりで、室蘭では今回で四回目になりました。

布施学長による本学の歩みと教育の取り組みを紹介する挨拶の後、確井和弘商学部助教が「携帯電話の功罪」と題して講演を行いました。

身近で時節を得た演題に市民の反応は大変よく、知らぬ間に「ケータイ」文化に慣れさせられている自分や社会を振り返る機会

室蘭、釧路で「講演と音楽の夕べ」

「携帯電話の功罪」ほか

市民講座「講演と音楽の夕べ」が室蘭市で七月一日(金)、釧路市で九月二十四日(金)に、併せて五五〇名を越す市民の参加を得て盛大に開催されました。

市民講座は市民に開かれた大学を目指す本学が一九九七年に札幌で開催したのが始まりで、室蘭では今回で四回目になりました。

布施学長による本学の歩みと教育の取り組みを紹介する挨拶の後、確井和弘商学部助教が「携帯電話の功罪」と題して講演を行いました。

身近で時節を得た演題に市民の反応は大変よく、知らぬ間に「ケータイ」文化に慣れさせられている自分や社会を振り返る機会

追悼
野々川道子(65) 野々川道子教授
野々川道子・人文学部教授は、かねて入院治療中とこの八月二十六日、死去されました。同教授は多年にわたり中学校の教壇に立ち、社会科学の第一人者として活躍されました。後に札幌家庭裁判所家事調停委員を務め、〇三年四月本学に移り、教職課程担当教員として社会科学教育法、公民科教育法、地理歴史科教育法等を講じるとともに、教育研究に情熱を注いでおられました。

深甚なる謝意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

親心、就職相談に順番待ち 旭山・北見で父母懇談会

今年度の父母懇談会が旭山(七月十日)と北見市(七月十一日)が終了しました。父母懇談会の目的は本学の教育と学習の実情について説明し、ご理解いただくこと、それぞれの学生様の修学状況や近況についてお伝えすることです。前回開催(二〇〇三年度)より出席率は下回りましたが、今回も母の皆様の期待、アンケートの回答から父母懇談会の役割の大きさをあらためて実感しました。



布施学長が挨拶(北見会場)

面談の二部構成で実施しております。全体説明会においては①大学が目指す教育目標と学生生活について②就職の求人状況や大学でのガイダンスの状況、自己分析の必要性③前年度の卒業、進級状況や学籍異動(休・退学)の状況、成績表の見方等について説明しております。個別面談では各学部・各会場の先生とゼミナール担当教員が中心となり対応しております。この面談にあたり事前に学生と面談を済ませ、学生の成績状況や授業の出席状況など多方面にわたり分析し、できるだけ状況を把握して父母の皆様に対応できるように準備しております。時間の関係上一人当たり十五

がむしゃらに (北洋銀行内定)

経済学部経済学科 田中 克典



私の就職活動は、学内で行われている就職ガイダンスにとりあえず参加することから始まりました。最初は時間的にも余裕があったため、なかなか本格的に取り組みができませんでした。その理由としては、活動を始めるのが遅かった、なかなか自己分析が進まなかったというのがあります。あと、周囲の先輩の就職活動の様子を見て、自分自身も早く就職活動を始めたいという思いが強くなりました。そのため私が本格的に就職活動を開始し、何社か受けた頃には、すでに二十社以上受けている人もいました。その理由としては、活動を始めるのが遅かった、なかなか自己分析が進まなかったというのがあります。

たというのがあります。あと、周囲の先輩の就職活動の様子を見て、自分自身も早く就職活動を始めたいという思いが強くなりました。そのため私が本格的に就職活動を開始し、何社か受けた頃には、すでに二十社以上受けている人もいました。その理由としては、活動を始めるのが遅かった、なかなか自己分析が進まなかったというのがあります。

二〇〇四年度 就職戦線

私が就職活動において大切に思うことは「自分と向き合い、自分を知る」ということです。「自分と向き合い、自分を知る」ということは「見聞の幅を広げる」ということでもあります。就職活動は、自分自身を知るための一つの機会です。自分自身を知るためには、自分自身の強みや弱みを客観的に評価し、それを活かせるような就職活動を行うことが大切です。

自分と向き合い、自分を知る (大正富山医薬品株内定)

人文学部臨床心理学科 伊藤 亜樹

私は三年生の二月中旬頃から本格的に就職活動を開始しました。就職活動は、自分自身を知るための一つの機会です。自分自身を知るためには、自分自身の強みや弱みを客観的に評価し、それを活かせるような就職活動を行うことが大切です。

積極的にOB訪問を (大和ハウス工業株内定)

商学部商学科 山口 崇博

私は三年生の二月中旬頃から本格的に就職活動を開始しました。就職活動は、自分自身を知るための一つの機会です。自分自身を知るためには、自分自身の強みや弱みを客観的に評価し、それを活かせるような就職活動を行うことが大切です。

NHK大学教養セミナー開催 「言葉が批評になるとき」

「NHK大学教養セミナー」が六月十八日、本学SGUホールで開催されました。講師にコラムニスト・童話作家の天野祐吉氏を招き、「言葉が批評になるとき」と題して講演を行いました。

天野氏は言葉のもつ意味や役割を、最近の若者言葉の例に挙げながら分かりやすく話されました。会場には笑い声が溢れ、聴き手から「普段何気なく使っている言葉の意味について考えさせられた」といった感想が寄せられました。

分程度の面談となりますが、内容の濃いものになるよう努力しております。この個別面談の順番を待っている間、父母同士がビュッフェで自由に交流しながら食事ができるようになっており、そこに学長や教務部長をはじめ早く面談を終えた教員が参加し、父母の率直な気持ちや意見を聞く場面も見られました。また、就職相談コーナーでは各会場とも順番を待つ父母の姿がみられ、予定時間を越えて相談しており、現在の就職状況の厳しさを物語っていました。

各会場のアンケートには「親の見えない面が見えてよかった。心配な面もありましたが成長過程として捉え本人と大学に期待したい」「学長、諸先生方の話をうかがい大学のきちんとした教育方針がわかり安心しました。子供を四年間札幌学院大学で学ばせることがとても楽しみです」「先生方の熱心に驚き感動しました。」

安心して子供をおまかせできます。また、言葉の大切さやコミュニケーションの重要性など、親として知っておきたいことをお話しました。また、就職活動の厳しさや、親のサポートの重要性など、親として知っておきたいことをお話しました。

第25回土曜公開講座「どうする、ニッポン」 法学・政治学から、日本のいまを問う

第二十五回目となる「土曜公開講座(江別市教育委員会共催)」は法学部が担当し、「どうする、ニッポン!」という統一テーマのもと、法学・政治学の観点から問題を提起しました。講義(全十回)は、①主として国内の問題を扱って国内の情勢が変化しているなかで何を考えるべきか、平和の実現と経済発展をめざしたE.U.から、また女性に対する暴力への国連の取り組みから何を学ぶべきか、武力

攻撃事態などが整備されるなかで戦争とどう向き合い、イラク戦争への自衛隊派遣の問題視されるなかで今後どうすべきかが検討されました。地域の人々と学生が参加する本講座には、幅広い年齢層から多様な職業の方が参加され、なかには第十回以降も続々と聴講されたという方もおられます。今回の講座には、各回約五十名から八十名の方が参加されました。聴講者の方からは、時事問題に関する詳細な説明がわかりやすい、資料が充実している、問題について

ついて認識を新たにするこことができるとか、考えさせられたなど、おおむね好意的な評価をいただきました。逆に、講義中に資料の参照箇所の確認が最初で、講義の全体像を最初に説明してほしいなど、忌憚のないご意見をいただきました。

日程	テーマ	講師
5/8	最近の朝鮮半島情勢について	清水 敏行
5/15	民法における法の解釈	田處 博之
5/22	死刑に代替する終身刑—死刑廃止に向けて—欧米と日本—	鈴木 敬夫
5/29	女性に対する暴力をめぐる10年	岡田久美子
6/5	危険に満ちた現代社会に耐えうる刑法理論とは?	曲田 統
6/12	アメリカ統治下沖繩の陪審制度	小沢 隆司
6/19	ヨーロッパ合衆国は誕生するか	家田 愛子
6/26	「謝罪」の日米比較	竹野谷みゆき
7/3	有事法制の現在とこれから	伊藤 雅康
7/10	国際法からみたイラク戦争とニッポン	松本 祥志

※講師は本学法学部教員

課外活動優秀学生、団体を表彰 受賞者に奨励金等を給付

学生の課外活動を活性化するため、スポーツ活動または文化活動において優れた成果を取った学生や団体の活動を奨励、表彰する「課外活動奨励制度」、もう一つは「課外活動奨励制度」、もう一つは「課外活動奨励制度」です。前者は国際大会・全国大会で優秀な成績を取った学生に対する助成制度で、後者は、前者の対象にあらずばなかつたものの全国大会の上位に食い込んだ学生に対してその成果を称えるもので、個人のみならず団体も対象とするなど適用範囲の広いものです。

今年度は奨励生が七名、表彰生が二十一名、表彰団体が五団体受賞しております。その一端を紹介いたします。



まず、奨励生では、安田文さん(人間四年)がリュージュのワールドカップ(二〇〇三年十一月)の日本代表選手として出場し、新極真会空手道部の阿部哲也さん(商学四年)はスペイン国際大会(二〇〇四年三月)で優勝、北野雄さん(英米二年)がスノーボード世界選手権(二〇〇四年二月)の日本代表選手として出場しております。

表彰生では小泉加奈さん(経済三年)が全国大会の棒高跳七位入賞で敢闘選手賞を受け、文化部唯一の受賞者である塚田さやかさん(臨床三年)は演劇コンテストに入賞し特別個人賞を獲得しました。団体では弓道部が全国大会男女ベスト8の成績で敢闘団体賞、陸上競技部は北海道大会で男子優勝、女子準優勝の成績で奨励団体賞を受賞しております。

五月二十九日(土)本学にて開かれた表彰式では、受賞した学生、団体に對して学長から賞状が手渡され、一人一人に激励の言葉をいただきまされた。彼らには奨励金等が授与されます。

今年度の奨励生、表彰生、団体は下記のとおりです。

氏名	種目	学年	学部・学科
●奨励生			
安田 文	リュージュ	4	人文・人間
阿部 哲也	新極真会空手道	4	商 学 学
沼山 卓海	少林寺拳法	4	商 学 学
小林 隆	新極真会空手道	3	社会 情報
高橋 優貴	ソフトテニス	2	経 済
北野 雄	スノーボード	2	人文・英米
室田 章吾	ソフトテニス	1	経 済

氏名	種目	学年	学部・学科
●表彰生			
大槻 学	陸上 競 技	4	法 学
根府 学	陸上 競 技	4	社会 情報
難波 史帆	陸上 競 技	4	商学二部
小泉 加奈	陸上 競 技	3	経 済
和田孝太郎	陸上 競 技	2	商 学 学
新田 良輔	ソフトテニス	4	社会 情報
山上 啓輔	ソフトテニス	3	経 済
外山 良樹	ソフトテニス	3	商学二部
土橋 敏拓	ソフトテニス	2	経 済
金子 裕幸	ソフトテニス	2	商 学 学
中居 光輔	ソフトテニス	2	社会 情報
石井慎一郎	ソフトテニス	2	社会 情報
岡田 芳明	ソフトテニス	2	法 学
高橋 基統	自 転 車	3	商 学 学
菅 宏和	自 転 車	3	商 学 学
小島 卓	自 転 車	3	法 学
鍋谷 潤一	自 転 車	2	経 済
小林 千裕	水 泳	4	人文・臨床
松本 貴充	水 泳	3	商 学 学
平川絵里花	水 泳	2	人文・臨床
塚田さやか	演 劇	3	人文・臨床

種目	部
弓 道	部
自 転 車	部
ソフトテニス	部
陸上 競 技	部
水 泳	同 好 会

組んでいた参加者が何人もいたようである。全体的には、「ミニ講義」(夏開催のミニ講義一覧は別表参照)への関心が非常に高く、実際の授業に興味・関心を持っていることが伺えた。なかでも、人間科学科及び臨床心理学科の講義には、毎回内容や卒業後の進路、学生生活などについて質問されていた。

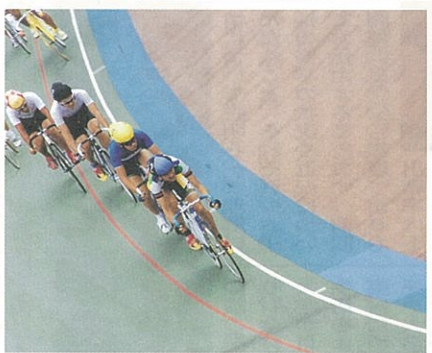
参加者の感想としては、「臨床心理学科は具体的でどんな学科なのか、どんな職場で働けるのかよく理解できたほか、問題を出されたり、適性を教えて頂いたりと暑さを忘れてしまった。」「全体を通してプログラムに不足が無く、力頂いた関係各位に心より感謝申し上げます。(入試課)

想が非常に多く、教職員や学生、さらには本学の環境や学内の良い雰囲気や伝わったのではないかと感じている。今後は、受験生が求めている教育内容やさまざまな支援体制などを、より具体的に伝えられるような企画を検討してまいります。

自転車部 君も走ろう！ ツールド北海道

我が自転車部は、インカレなどの全国大会出場常連校です。近年では、道選手権インカレにおいて優秀な成績を上げてきました。この成績を上げるには日々の努力の積み重ねが欠かせません。

現在、自転車部の部員は八名、そのうち競技を行って居るのは四名です。この人数は関東勢に比べ非常に少なく、大学対抗の試合では、入賞しても、他の大学の選手が多く入賞している、総合得点がその大学へ行き、大学対抗の総合順位に絡めませんでした。毎年、部員集めをしますが、自転車競技にマイナーなイメージがあり、部員が集まりません。しかし、今年のアテネオ



リンピックにおいて、我が国発祥の自転車競技「ケイリン」が正式種目になりました。これをきっかけに自転車競技に興味を持つ人が増えることを期待しています。そのために、私たちは日々の精進を欠かすことができません。

来年は、全国大会でひとつでも多く入賞し、インカレにおいて大学対抗総合順位に絡めるように精進し、ツール・ド・北海道国際大会に北海道選抜チームではなく札幌学院大学チームとして出場できるように頑張っていくと思います。



今年十七年目を迎える本学「オープンキャンパス」が七月三十一日及び八月三日に本学キャンパスで開催された。

近年は、各大学でもさまざまな取り組みがなされている。本学でも「ミニ講義(全十六講義)のほかに体験学習を充実させているほか、秋には保護者等を意識した「就職ガイダンス」を実施するなど、新たな企画も取り入れ、本学

この「オープンキャンパス」は、志望校を決める上でも重要なイベントとなっており、近年は、各大学でもさまざまな取り組みがなされている。本学でも「ミニ講義(全十六講義)のほかに体験学習を充実させているほか、秋には保護者等を意識した「就職ガイダンス」を実施するなど、新たな企画も取り入れ、本学



魅力を伝えられるよう検討して来たところである。そんな成果もあってか、今年度は、夏・秋の開催で、昨年を上回る一、四〇八名(夏八五六名、秋五五二名)の高校生及び保護者等に「参加頂くことが出来た。参加者は、石狩圏が中心であるが、道内各地のほか、道外では青森、秋田、岩手、宮城、埼玉、大阪、鳥取、福岡、沖縄などの遠方からも参加頂いた。今年の実施内容は、全学科十八講義を用意した「ミニ講

オープンキャンパス「ミニ講義」一覧 (7/31実施)

時間	対象学科	テーマ	担当者
1講時 11:40~12:20	人間科学科	痴呆性高齢者の世界を理解する	新田 雅子
	英語英米文学科	英語コミュニケーションと国際交流	D.W.ヒンクマン
	臨床心理学科	臨床心理士のフィールド	橋本 忠行
	法律学科	死刑囚からの臓器移植-憲法と刑法の接点-	鈴木 敬夫
	経済学科	フリーターの増大を考える	片山 一義
2講時 12:40~13:20	商 学 科	新たな三つの言語への対応	原 晴生
	社会情報学科	インターネットの最新線-マルチメディアへの招待	新國三三
	全 学 科	文章書きは学べる技術	佐々木 冠
	人間科学科	先輩たちが語る!-人間科学科ってこんなところ	奥田 統己
3講時 13:40~14:20	英語英米文学科	海外留学への誘い-イギリスを中心に-	菅原 秀二
	経済学科	新しい社会システム-アジャイル社会の可能性	浅川 雅巳
	社会情報学科	北海道民はどれくらいテレビを見ているのだろうか?	高橋 徹
	全 学 科	文章書きは学べる技術	山崎 哲永
4講時 14:40~15:20	臨床心理学科	人間関係の心理学	佐野 友奈
	法律学科	江別市によるまちづくり	洞沢 秀雄
	商 学 科	ケータイが変えるマーケティング	碓井 和弘

去る七月三十一日、八月一日に「写真の町」として発展する東川町で「東川フォトフェスタ」が行われ、私たち札幌学院大学総合芸術研究会写真部も参加してきました。東川フォトフェスタは、高校生が写真を競う写真甲子園や、各受賞式など、有名なイベントが多数行われる大きなイベントです。

私たち学生はその中の「東川国際ストリートフォトライブ」として札幌圏の大学の写真部に声をかけ、屋外の写真



展やアマチュア作家の方々の演奏に合わせた写真のスクライド上映、写真の販売や、来場者との交流を目的とした企画などを主催しました。主に各企画の段階から札幌学院大学の写真部のメンバーで考え、企画書を書き、企業に協力を頼むという大変な作業をこなすことには、大変な苦労がありました。しかし、日々に近

場者との交流を目的とした企画などを主催しました。主に各企画の段階から札幌学院大学の写真部のメンバーで考え、企画書を書き、企業に協力を頼むという大変な作業をこなすことには、大変な苦労がありました。しかし、日々に近

「写真の町」として発展する東川町で「東川フォトフェスタ」が行われ、私たち札幌学院大学総合芸術研究会写真部も参加してきました。東川フォトフェスタは、高校生が写真を競う写真甲子園や、各受賞式など、有名なイベントが多数行われる大きなイベントです。

「ミニ講義」をはじめ、新たに取入れた「就職ガイダンス」のほかに、入試や学科就職、資格取得など、さまざまな相談に応じる「個別相談会」、学内の施設を案内する「キャンパスツアー」、学生スタッフをサポートする「体験学習」を充実させ、「CALL英語体験」、「土器制作体験」、「3DCG制作体験」、「アニメーション制作体験」、「パソコン組み立て体験」、「商品学体験」、「ミニFM放送体験」という七つの体験学習を実施した。学生スタッフのサポートのなか、時間を忘れて取り

「ミニ講義」をはじめ、新たに取入れた「就職ガイダンス」のほかに、入試や学科就職、資格取得など、さまざまな相談に応じる「個別相談会」、学内の施設を案内する「キャンパスツアー」、学生スタッフをサポートする「体験学習」を充実させ、「CALL英語体験」、「土器制作体験」、「3DCG制作体験」、「アニメーション制作体験」、「パソコン組み立て体験」、「商品学体験」、「ミニFM放送体験」という七つの体験学習を実施した。学生スタッフのサポートのなか、時間を忘れて取り

「ミニ講義」をはじめ、新たに取入れた「就職ガイダンス」のほかに、入試や学科就職、資格取得など、さまざまな相談に応じる「個別相談会」、学内の施設を案内する「キャンパスツアー」、学生スタッフをサポートする「体験学習」を充実させ、「CALL英語体験」、「土器制作体験」、「3DCG制作体験」、「アニメーション制作体験」、「パソコン組み立て体験」、「商品学体験」、「ミニFM放送体験」という七つの体験学習を実施した。学生スタッフのサポートのなか、時間を忘れて取り